

第5次沼津市総合計画基本計画(案)に関する意見募集の結果について

第5次沼津市総合計画基本計画(案)に関してパブリックコメントを実施したところ、下記のとおりご意見をいただきました。いただいたご意見については今後のまちづくり等の参考意見とさせていただきます、基本計画(案)は「変更なし」といたします。

1 パブリックコメントの実施状況

- 実施期間: 令和2年12月8日(火)～令和3年1月20日(水)
- 提出者数: 1人
- 意見数 : 4件
- 提出方法: 電子メール1通

2 提出された意見の内容及び市の考え方

番号	ページ	意見の内容	意見に対する考え方(案)	修正の有無
1	1	人口目標が低すぎる。これでは、東部の中核都市とは言えない。 人口グラフは、実際の数値も記述すべき。2020年は194,207人という市の資料あり。 コロナ禍で仕事のスタイルも急変し、東京からの移住の動きが加速中という状況も考えると弱気にならない方がいい。	市民の生活環境や地域経済を維持し、将来にわたって本市の活力を維持していくためには、可能な限り今後の人口減少を抑制していく必要があると考えております。このため、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」において、合計特殊出生率、社会増減に係る純移動率の将来目標数値を踏まえた人口の将来展望を定めており、まちづくりの推進に当たっては、当該数値以上を目指して各種施策に取り組んでまいります。将来人口につきましては、2015年の国勢調査の実数を基準に推計し、2020年から推計値となっております。	無
2	18、19、20、21、46、47、50	新幹線駅がないが、新幹線を身近にすべき。三島駅—沼津駅間に自動車専用道路を開通させる。(短時間移動を可能にする) JRで沼津—三島間のみの専用便増発、地下鉄、モノレールも考えられるが、自動車専用道路の方が、コスト(地下鉄等より)、利便性が良いと思う。	本市への来訪者の増加に向けては、沼津駅周辺を中心とした地域の魅力や都市機能の強化を図るとともに、県東部地域の交流拠点としてヒト・モノ・情報の活発な往来を推進していく必要があると考えております。このため、近隣市町との広域的な連携を果たす主要幹線道路の体系的な整備や、誰もが利用しやすい公共交通の整備等に取り組んでまいります。	無
3	18、19、20、21、46、47、50	東名沼津IC—沼津駅—沼津港間に自動車専用道路を開通させる。 現状は、ICがあっても、伊豆縦貫自動車道で伊豆に抜けていき、沼津市街への集客が非常に弱い。沼津市内は、東西道路は充実(計画も含め)しているが、南北の道路整備が非常に貧弱。鉄道高架で南北の融通化、R414整備だけでは、南の観光地への誘客にはまだ、不十分だと思います。 将来的には、沼津港—御用邸—静浦—大瀬—戸田—松崎までの自動車専用道路とし、災害時の復旧にも活用していくといいのでは。 観光客を増やし、いいイメージができれば、移住にも繋がると思う。	インターチェンジやスマートインターチェンジを始めとする本市の強みである広域交通アクセスの活用、沼津駅周辺総合整備事業の推進による南北交通の円滑化など、本市に多くの人を呼び込むために、関係機関と連携しながら骨格交通軸等の整備に取り組んでまいります。	無
4	19、33、37	トヨタ自動車の実験都市での裾野市の未来構想、静岡県内の地域開発、東名、新東名IC周辺での裾野市、静岡県と新規企業、開発拠点としての共同誘致を推進すべきと思う。	自動運転の実証実験など、先進的な技術をまちづくりに導入していくことを検討していくとともに、東名高速道路や新東名高速道路IC周辺などの交通利便性が高い地域においては、広域交通網を活かした産業集積を検討する区域として、自然環境等にも配慮しながら土地利用や企業誘致等を計画的に進めてまいります。	無